

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年2月13日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年2月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【西門南側の現場調査時における協力企業作業員の負傷について】 西門南側の現場調査に従事していた協力企業作業員が、歩行中に水溜まりを避ける際、付近にあった単管パイプの接続クランプ部ボルトに右手甲を接触させ負傷した。 その後、救急医療室において右手背挫創と全治2週間と診断され、5針縫合の治療を受けた。 なお、不休災害となっている。 今後、負傷の原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月8日
2	<p>【高性能容器保管基数の報告誤りについて】 当社社員が多核種除去設備において使用された高性能容器の、保管内容をまとめていたリストを整理していたところ、「高濃度滞留水処理・貯蔵状況 第587報」(ホームページで公開されている)で報告されている保管容器数の誤りを確認。 なお、当該第587報の保管容器数は訂正済み。 今後、原因を調査し、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	2月8日
3	<p>【淡水化装置(RO3)の前次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプの起動不良について】 当社社員が淡水化装置(RO3)の前次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプの試運転において、当該ポンプが起動しないことを確認。 当該ポンプは冬期間停止する運用のため、淡水処理には問題なし。 今後、当該ポンプの交換を実施。</p>	GⅢ	2月3日